



碧南ロータリークラブ週報

第2515回例会 平成22年9月8日(水)

● 会長 奥田 雪雄 ● 幹事 新美 宗和 ● 会場監督 (SAA) 伊藤 正幸

2010-2011年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 新美雅浩・鈴木健三・西脇博正・菅原 優



● 齊 唱

ロータリーソング「我等の生業」

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

碧南市スポーツ少年団本部長 石川宇一氏

碧南市スカウト育成連絡協議会1団ボーイ隊長 小島壮持氏

会 長 挨拶



奥田雪雄会長

今日はプラトニックな恋の話をさせていただきます。

恋が好きで、ポエムが好きで、嵯峨野も人生も大好きな私が皆様に、歴史と文学と緑の別天地である嵯峨野の一端をご紹介致したいと思えます。

傲慢な人を謙虚にし、臆病な人を勇者にし、理知的な人を盲目にする恋ほどミステリアスでファンタスティックなマジックはないと思えますが、皆様いかがでしょうか。嵯峨野には現実的で打算的で本能的な恋を、メルヘンティックでロマンティックでプラトニックな恋に変えるマジックがあると思えます。

そんな嵯峨野で繭人形とモビールの店を開いているあだしのまゆ村の村長、蒲田哲夫さんの嵯峨野恋想歌が私は大好きであります。

「頬に触れ うなじにまとう 嵯峨野路の 風は愛しき 人の手になあれ」

その背景にあるものは、じっと見つめられて、そっと髪にふれられて、両手で頬をはさまれて、思わず私が目を閉じて…。恋って苦しいのかなぁ、切ないのかなぁ、でもきっと甘いんだろうなぁ。私の彼ってどんな人なんだろう。私が知らないだけで本当はもう決まっているんだ。おかしいね。私も知らないけど、彼だって何にも知らずにどっかで何かをやっているんだから。いつか二人で嵯峨野に来た時は、私の肩に手をおいて、「君が好きだよ」なんて言ってくれるのかなぁ。そんな時にはどうしよう。照れちゃうなぁ。困っちゃうなぁ。でも恋ってきっと楽しいんだ。だって上品でやさしい彼なんだもん。かわいい私の彼なんだもん。

「頬に触れ うなじにまとう 嵯峨野路の 風は愛しき 人の手になあれ」

ありがとうございました。

幹 事 報 告

- ・お手元の幹事報告書のとおりです。
- ・本日、例会終了後、理事会がありますので関係の方はご出席下さい。



新美宗和幹事

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数74名(内出席免除者15名の内出席者11名)出席者62名

出席対象者 62/69名 出席率 89.86%

欠席者12名(病欠者1名) 前々回修正出席率 98.51%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

〈ニコボックス委員会〉

- 奥谷 弘和君 ボーイスカウト・ガールスカウトに育成を頂き、ありがとうございます。
- 奥田 雪雄君 新美孝さん、新美雅浩さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。
- 清澤 聡之君 碧南市スカウト育成連絡協議会に助成を賜り、誠にありがとうございます。スカウト活動に励みます。
- 山中 寛紀君 先週9月1日は例会後のクラブ協議会にて鈴木敏弘様に大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。
- 榊原 健君 9月5日(日)県信杯少年サッカー大会を開催させて戴きました。西脇さんには当日ごあいさつを戴きありがとうございました。
- 角谷 修君 本日の助成金贈呈団体の碧南市スポーツ少年団、碧南市スカウト育成連絡協議会をご紹介します。

〈親睦活動委員会〉

会員誕生日

5日 西脇 博正君 12日 長田 豊治君 13日 岡本 明弘君
18日 栗山 章君 19日 竹下 聡君 20日 大澤 明敬君

奥様誕生日

15日 長田 和徳君の奥様真由美様 21日 竹中 誠君の奥様みのり様
25日 石川 唯司君の奥様紀代子様 26日 森田 雅也君の奥様千恵子様

結婚記念日

23日 石橋 嘉彦君・里美様 28年 24日 黒田 昌司君・みゑ子様 31年
26日 山中 寛紀君・恭子様 28年 30日 鶴田 光久君・美奈子様 32年

入会記念日

4日 岡田 越勇君 5日 鈴木 昭洋君

青少年活動の助成金贈呈



奥田会長より碧南市スポーツ少年団へ



奥田会長より碧南市スカウト育成連絡協議会へ

クラブフォーラム

青少年活動の助成金贈呈

碧南市スポーツ少年団本部長 石川宇一氏 挨拶

ロータリーの皆様方には子どもたちのスポーツに対して大変、ご理解を頂いており、誠にありがとうございます。最近の近況報告をさせていただきます。まずは、子どもたちの活動成果についてご報告します。空手道



石川宇一氏

は全国で4つの大きな派がありそのうちの一つの全国大会で9名の子どもたちが優秀な成績を収めております。陸上クラブは小学生の全国大会の女子のリレー種目で準優勝、そのほかのチームで東海大会に出場して優秀な成績を収めております。少年野球とサッカー少年団に関しては碧海5市と西尾市が入った碧海キャッチ杯で優勝しております。それぞれの指導者が良くて技術が向上しているところです。

大きな年間行事のひとつとして毎年2月に碧南市でリクレーション交流大会を1200名が集まって楽しんでます。またその日にスポーツ少年団全国共通の体力テスト4種目をやり、数年の実績結果を参考にして指導者の方が指導のもとにしているところです。また、指導者をレベルアップするための指導者講習会も毎年、やっています。

スポーツ少年団のモットーとして、まずは、健康づくり、運動して体力をつくってもらうこと、二つ目は夢づくり、技術向上してある程度大きな大会で優勝すると言う夢をもつこと、最後に人づくり、ルール、しつけをしっかり身につけさせて立派な子どもに成長させることです。どうぞ今後も末永くご支援いただきますよう、宜しくお願い致します。

碧南市スカウト育成連絡協議会1団ボーイ隊長 **小島壮持氏 挨拶**

毎年、貴重なご支援を賜りましてありがとうございます。

ボーイスカウト活動は世間ではボランティア活動と思われがちですが、それは一部であります。我々のフィールドはまちの中ではなく山の中になります。そこでキャンプをしています。食べること、後片付け、重い荷物を持って山に登ったりします。そこで不平不満が出てきますが、そこが指導のチャンスになります。



小島壮持氏

今日、何やるの?とか、何時に終わるの?とか、ごはんは食べたくないから作りませんとか、わがままを言う子はたくさんいます。ボーイスカウトの根本は行うことで学ぶということです。やらないものは食べられないんです。

今年の8月初めに4年に1度の日本ジャンボリーが、3万人の参加者で開催されました。そこでは毎日、食事の配給があります。5日目に豆の粉、とうもろこしの粉の配給がありました。世界のあちこちで食べられている食材も恵まれた日本ではまず食べることのないものなので非常に不評でした。子どもたちには、今の恵まれた生活環境はちょっとしたバランスのもとで保たれているだけであること、バランスが崩れればこういうものを食べていかなければいけなくなることを伝える良い機会となりました。

ボーイスカウトは、素晴らしい人材を世の中に送ろう、残そうというのが本来の活動の主旨です。是非、小さいうちにこういう団体に入れる事は有意義な経験を積むことになりますので、周りの方にたくさんお声掛けを頂きたいと思います。本日は大変、ありがとうございました。

次回例会案内 平成22年9月22日(水)

インフォーマルミーティング

17:30～ 衣浦グランドホテル2階 明石